

キュウトビ

九国の扉

学校法人九州国際大学
学園広報誌「キュウトビ」
vol.9/2011 秋号
発行日/2011年9月30日

特集
DREAM100 作文コンテスト

TOPIQ

— 九国の挑戦者たち —

学園で活躍する九国の学生、生徒を紹介！

Campus Report

学園の学びを一挙紹介！

Contents

02 DREAM100 作文コンテスト

(学園の Topic を Pick up)

07 TopiQ
九国の挑戦者たち

(学園の学びを紹介する)

09 Campus Report

(ザ・北九州学)

13 近代化遺産の旅
八幡東区「村野藤吾建築作品」

(平成 22 年度学校法人九州国際大学決算状況)

14 決算状況

<表紙デザイン>



撮影場所：平尾台

今回の表紙画像は、九州国際大学山岳部部長の大森大輝さんから寄せられた大学HPサークルブログの画像を転用いたしました。山岳部の活動は皿倉山の登山練習を中心にクライミングなど多岐にわたります。

※クライミングはガイドの指導により安全に行われています。



Kyushu International University President Message

堀田泰司学長 略歴 / プロフィール

昭和 50 年 4 月に八幡大学 (現九州国際大学) 法経学部講師就任。以後、助教授、教授、大学院法学研究科教授、九州国際大学副学長を経て、平成 20 年 3 月に福岡県弁護士会弁護士に登録。そして今年 9 月、九州国際大学学長に就任。

平成 23 年 9 月 1 日付で九州国際大学学長を拝命した堀田泰司です。九州国際大学は 1930 年 (昭和 5 年) に北九州の地域で働く人々に対して修学の機会を提供するために開かれた「九州法学校」以来、地域の法曹、産業、官庁に 3 万 5 千人以上の有為な人材を送り込んで参りました。

現在では、3 学部 (法学部、経済学部、国際関係学部)、2 大学院研究科 (法学研究科、企業政策研究科) <修士課程> を擁し、各学部は教育、人材育成のあり方について教育改革を加え、地域社会のニーズに応える努力を日々重ねております。

本学は、今後も社会から学生を " 本気で鍛える " 大学として評価されるよう努力します。そのために、研究と教育に情熱をもった教授陣と職員を揃え、一人ひとりの学生の希望をかなえるためにあらゆる教育的努力を重ね、就職支援の実をあげることが私たちに課せられた責務であると考えております。大規模大学ではないからこそ可能な「少人数の教育体制」が本学の特徴です。" 卒業生から大学生へ、そして高校生へ " と連携の輪と和で繋ぎ、今後とも北九州地域の教育・研究の拠点としてその発展に貢献して参りたいと思います。



2011 作文コンテスト

DREAM 100

テーマ「私の未来」



44校 4,545名から寄せられた 100文字の夢作文。

今年、九州国際大学は、開学 100 年を目指して九州・山口の高校生に
将来の夢や人生の目標を語ってもらう「DREAM100 作文コンテスト」を実施しました。



Dream100 作文コンテスト

今年、九州国際大学では開学 100 周年を目指し、高校生に 100 文字で夢を語っていただく「Dream100 2011 作文コンテスト」を行いました。この企画は高校生に文章を作成してもらうことを通じて、中等教育活性化の一助になることを期待したものです。応募総数 4,545 点の作品は、どれも「未来」に向かって一生懸命にがんばっている姿を伺うことができました。九州国際大学は、これからも「夢を育てる大学」として次代を担う若者の声に耳を傾けてまいります。

Dream100 応募いただいた高校

(山口) 宇部フロンティア大学付属香川、下関国際、下関中等教育学校、厚狭、山口県桜ヶ丘、早鞆、田部、防府西(福岡) 鞍手(定時制)、鞍手竜徳、遠賀、沖学園、久留米筑水、仰星学園、九州国際大付属、九州国際大付属(一貫部)、古賀寛成館、純真、小倉、小倉工業、小倉商業、星琳、折尾愛真、中間、田川、田川科学技術、八幡、美萩野女子、福岡講倫館、福岡国際高等学院(佐賀) 佐賀清和、鹿島実業(大分) 宇佐、高田、大分県、森、大分工業、大分東明(長崎) 吉岐(熊本) 熊本国府、高森、鹿本、必由館、(鹿児島) 伊集院、鹿児島実業、樟南

ご応募にご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

DREAM大賞

Dream
100
プロジェクト

■中西 健二さん (沖学園高等学校2年)

僕はもう未来の計画が出来ています。
僕の夢は「救急救命士」です。この夢は小学校の頃からなると決めていて、絶対にになります。
自分の手で人の命を救い、信頼されるような救急救命士となって社会で活躍したいです。

■受賞者の感想

小学2年生の頃、家の近所で起きた火災現場で消防士の方々が懸命に人命救助される姿を見て、体に電流が走るような衝撃を受けました。一刻を争う救命現場では、誰よりも真っ先に動く行動力や責任感、そして仲間との連携が重要だという話を消防士の方から直接伺い、将来の夢は「消防士」しかないと思えるようになりました。現在は、沖学園高校の看護福祉コースで専門的な知識と技術を身につけ、消防士を目指しています。

今回は、幼い頃からの夢を純粋な気持ちで「DREAM100」に綴りました。その夢で大賞をいただき、本当に光栄です。



④DREAM大賞の表彰状を手に笑みを浮かべる中西さん



④DREAM100表彰式の様子

■選考委員長 審査員
他人を助けることに消極的になりがちな風潮のなか、救急救命士になりたいという中西君の思いに感銘を受けました。救急救命士は緊迫した現場で人の命を扱う仕事だけに、専門的な勉強とともに、技術の習得も必要です。住民のために働く「中西君の未来」に期待したいと思います。

選考委員長 佐木 隆三氏
(北九州市立文学館館長・九州国際大学客員教授)



読売新聞西部本社賞

■大内 絵里加さん (小倉商業高等学校3年)

「早く起きなさい」と朝から
大きな声で叫んでいる私。
私は旦那さんと二人の子
どもを起こす。毎日ご飯は
家族皆で。
「いつてきます」皆を笑顔
で送り出し私も仕事。
普通の話だけど、これ以
上の幸せ探してもないだろ
うな。

■受賞者の感想

私の家では友人のことや学校のこと、その日にあった
できごとが毎日の家族の話題になります。そんな何気
ない日常の風景ですが、明るく楽しい生活を送られる
のって、本当は幸せなことなんだと気づきました。今
回の受賞を母に伝えると「やるじゃない！」って驚い
ていました(笑)。これまで家族に支えられ、大切に
育ててもらえたことに感謝を忘れず、生活していき
たいと思います。



①読売新聞西部本社賞の表彰状を手に笑みを浮かべる大内さん



②読売新聞西部本社賞を受賞する大内さん

選考委員 時枝 正信氏
(読売新聞西部本社編集委員)

ありきたりに見える
日常の大切さ、かけ
がえのなさ思い知
らされたのが、今回
の東日本大震災でし
た。「早く起きな
さい」。大内さんは、ど
この家庭でもありそ
うな日常を、「未来の
姿」としました。未
曽有の大震災に見舞
われたあとだけに、
大内さんの素直な感
性に心惹かれました。

■選考委員

審査評



Dream
100
プロジェクト

FBS 福岡放送賞

■ 蜷川 ゆみさん (樟南高等学校 2年)

沢山失敗したい。
それに、めげない人になり
たい。あるもの全てに恐れ
ずに、堂々と自分の道を歩
きたい。短い日々の中で、
どれだけの経験ができるか
は、自分との競争。
だから私は誓う、沢山失敗
して、必ず成功する。

選考委員 松吉 ゆかり 氏
(FBS福岡放送アナウンサー)

■ 選考委員 審査評

失敗することを極端に恐れる若者がいる、と聞きます。就職氷河期といわれていますが、数社の入社試験に失敗しただけで、就職活動をあきらめてしまう学生もいるそうです。それだけに、「沢山失敗したい」という蜷川さんの思いは貴重です。「必ず成功する」と結んだのも好感を持ちました。

Dream
100
プロジェクト

選考委員会特別賞

■ 米田 陽和さん (九州国際大学付属高等学校一貫部 1年)

僕は、世界でも有名な考古学者になりたい。
そして、さまざまな文明の謎を解明し、まだ地下に眠っているかもしれない新しい文明を発見し、遠い未来の歴史に貢献できるように偉大な考古学者になりたい。

選考委員 羽田野 隆士 氏
(北九州商工会議所 専務理事)

■ 選考委員 審査評

ピラミッド、スフィンクス、イースター島のモアイ像……。世界にはまだ解明されていない「文明の謎」はたくさんありますが、最先端の科学技術を駆使すれば、文明の歴史が塗り替えられるかもしれません。世界的な考古学者になった米田君の謎解きを楽しみにしています。



入選

【山口】(厚狭) 内藤由貴さん・1年、(桜ヶ丘) 小山彩虹さん・1年、中嶋統子さん・1年、(早朝) 岡本佳保さん・3年、石川由季さん・2年、中居美緒さん・2年、【福岡】(鞍手(定時制)) 日車恵理子さん・3年、(鞍手竜徳) 長谷川あやかさん・3年、(遠賀) 高山舞さん・2年、(沖学園) デイスクさん・2年、山口卓也さん・3年、小泉綾香さん・2年、清水大樹さん・3年、(仰星学園) 長佑季さん・1年、(九州国際大学付属) 園田祥太さん・2年、玉井比佳里さん・3年、金子晴菜さん・3年、荒巻志織さん・2年、今吉康彰さん・2年、山内真衣さん・1年、山本悟司さん・2年、出雲澗大さん・1年、出水正浩さん・1年、松下義明さん・1年、星野朱音さん・2年、清水美沙さん・3年、村尾裕美さん・3年、大江健児さん・2年、大坪卓矢さん・3年、中嶋彩菜さん・1年、田上健太さん・1年、田中佑典さん・1年、藤吉彩さん・2年、萩尾千陽さん・2年、武見稔さん・2年、本多夏海さん・2年、毎熊里奈さん・3年、眞名子聖矢さん・2年、(九州国際大学付属一貫部) 伊藤愛梨さん・3年、貝嶋真夏さん・2年、廣嶺絵美さん・3年、(純真) 佐藤那美さん・3年、山下莉奈さん・3年、(小倉) 山田琴音さん・2年、(小倉工業) 宮川佑さん・2年、(小倉商業) 岸本彩瑛さん・3年、亀田美奈さん・1年、義経夏海さん・1年、吉田愛樹さん・3年、森岡夏生さん・1年、秦将史さん・1年、中田達也さん・3年、渡邊秀明さん・3年、(星琳) 井戸佳菜子さん・1年、泉彩夏さん・1年、(折尾愛真) 亀井瞳さん・3年、西村夏海さん・3年、石田浩太郎さん・3年、(中間) 河野敏也さん・1年、高山滉平さん・1年、川原実沙希さん・1年、山口優稀さん・1年、(田川科学技術) 松井勇貴さん・3年、(八幡) 村岡樹さん・1年、(美萩野女子) 塩満あやさん・2年、山本理奈さん・2年、本多志帆さん・2年、【佐賀】(佐賀清和) 宮原未穂希さん・1年、(鹿島実業) 田代大貴さん・3年、【大分】(高田) 新田滉樹さん・3年、(森) 佐藤和樹さん・3年、若杉杏奈さん・3年、酒井奨大さん・3年、(大分工業) 三浦一馬さん・2年、(大分東明) 田中雅子さん・2年、齊藤幹二さん・2年、【長崎】(香岐) 山内勇人さん・3年、酒井紳一郎さん・3年、小田茜さん・3年、小島拓海さん・3年、【熊本】(高森) 安藤龍哉さん・3年、後藤誠朗さん・3年、日高正親さん・3年、(鹿本) 上田将平さん・2年、瀬口裕也さん・2年、田中口香里さん・2年、【鹿児島】(伊集院) 大山未夏さん・1年、米倉幸佑さん・2年、(鹿児島実業) 宮本佳昌さん・2年、猪鹿倉彩花さん・2年、(種南) 井上孝彌さん・1年、岩下加奈さん・3年、宮里香帆さん・2年、赤松華鈴さん・2年、大山亜由美さん・3年、東美順さん・3年

団体賞

秀賞
福岡県立
小倉商業高等学校

秀賞
長崎県立
長崎高等学校
**九州国際大学付属
高等学校(一貫部)**

学校賞

山口県
早朝高等学校
山口県桜ヶ丘高等学校

福岡県
中間高等学校
小倉工業高等学校
星琳高等学校
古賀寛成館高等学校
福岡講倫館高等学校
沖学園高等学校
純真高等学校
九州国際大付属高等学校

熊本県
高森高等学校
鹿本高等学校

鹿児島県
樟南高等学校
伊集院高等学校

選考委員長 講評

選考委員長 **佐木隆三氏**

(北九州市立文学館館長・九州国際大学客員教授)



4500人を超える高校生が一人ひとり、「私の未来」を語ってくれました。未来の自分の姿をしっかりと描き、目標に向かって努力している高校生の存在に勇気づけられました。今回は、家族をキーワードにした作品が目立ちました。「普段どおりの生活をした」と訴えた高校生もいました。死者・行方不明者が2万人を超える東日本大震災が発生、家族や仲間がいる幸せ、日常生活の大切さを考える人々が

増えている世相を反映したのでしょうか。

DREAM大賞には、福岡市・沖学園高2年の中西健二君の作品を選びました。災害現場や事故現場に駆けつけ、命と向き合う救急救命士を目指すという中西君を審査員一同、頼もしく思いました。

今回、ちよつと残念だったのは「未来が分からない」という高校生がいたことです。社会が混沌とし、将来が不透明と言われる時代ですが、分からないからこそ、若者にはしっかりとした目標を立て、それぞれの夢に向かって、歩いていってほしいのです。



↑ DREAM100 審査会の様子

01 九国大付野球部 (高校)

「第93回全国高等学校野球選手権大会」出場

感動をありがとう！

平成23年8月11日(木)、春のセンバツ大会で逃した全国制覇達成のため、夏の甲子園に再び舞い戻った九州国際大学附属高校野球部でしたが、惜しくも関西高校(岡山)にサヨナラ負けを喫し、初戦敗退となりました。チームの要として野球部を引っ張った高城俊人主将(3年)は、「後輩にはまたここに戻ってきてほしい」と自分たちの目標を後輩に託しました。九国大付野球部を応援してくださった多くの皆様に心より感謝申し上げます。



2011年全国大会出場者の結果発表 02

■「第35回全国高等学校総合文化祭囲碁部門 団体戦優勝」

・囲碁同好会：団体戦(3校混成チーム) 蒲地諒一君(福岡県代表)が42都道府県の頂点達成

■「第35回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権(団体戦)」

・囲碁同好会：(主将)蒲地諒一・(副将)吉本健太・(三将)武見稔(1次リーグ3回戦敗退)

■「第13回紫灘旗全国高校遠的弓道大会 全国3位」

・弓道部：西津佐和子、中馬希、上月麻里江、植田彫愛

■「全国高等学校総合体育大会」(インターハイ)

・体操部(団体戦予選34位)

成田周平(166位)、上田祐生(176位)、春山尚輝(206位)、森功輝(214位)(/277人中) (森功輝平、豊島泰三)

・水泳同好会

個人戦：塩谷康允 200背(14位)、100背(18位)、柏原直弥 100平(28位)

団体戦：400mメドレーリレー(50位)

・バドミントン部(男子)

団体戦：ベスト16

個人戦：シングルス 森田浩平(ベスト32)

ダブルス 森田浩平・石山裕基ペア(ベスト32)

・バドミントン部(女子)

団体戦：ベスト16

個人戦：シングルス 中村麻裕(ベスト8)、1回戦 堂山友里愛

ダブルス 中村麻裕・金森望ペア(ベスト8)、堂山友里愛・井上朋美ペア(ベスト8)

・陸上部

やり投げ：恵良友也(3位入賞 64m81)

1500m：石田政(5位入賞 3,48,58)

400mリレー：高良・小椋・堀田・松井(タイム42,59)

■「全国高校女子ウェイトリフティング選手権大会」

・ウェイトリフティング部：足立咲輝(14位)

■「全国中学生ウェイトリフティング選手権大会 優勝」

・ウェイトリフティング部：福田匠磨(全国1位)



03

バドミントン部 (中学校)

・第41回全国中学校バドミントン大会開催記念
「びわこジュニアオープンバドミントン大会」(6/18・19)
女子個人ダブルス 準優勝 (堂山・平田組)

準優勝の感想。

堂山美羽さん (3年)

「今年、6月に滋賀県で開催された中学校全国大会プレ大会に出場しました。今回、ダブルスを組んだ平田さんに迷惑をかけないように、自分の力を精一杯出し切ることを心がけました。1試合目、2試合目と最後まであきらめずにがんばることで決勝まで進むことができました。決勝戦では負けましたが、がんばって二人で準優勝できたので、本当に最高でした。」

平田みなみさん (3年)

「今回の全国大会プレ大会では、ダブルスの堂山さんの足を引っ張らないように、自分なりに一生懸命がんばりました。試合前に、とても緊張していたら、堂山さんがたくさん話しかけてくれて、リラックスして試合に臨むことができました。特に2試合目は、徳島中にファイナルのスコア 18-16 で負けていたけれど、二人で最後まで攻めて、逆転勝ちすることができました。決勝では負けてしまいましたが、二人で勝ち取った準優勝は、本当に最高でした。」



写真：九州国際大学付属中学校女子バドミントン部
堂山さん (中段中央)、平田さん (上段左から3番目)、石橋さん (下段中央)、
重田さん (中段左端)、若林さん (下段右から2番目)

・第40回九州中学校バドミントン競技大会 (8/7～9)

女子団体準優勝

女子個人ダブルス 優勝 (石橋・重田組)

3位 (堂山・若林組)

・第41回全国中学校バドミントン大会 (8/22～25)

女子団体ベスト8

女子個人ダブルスベスト8 (石橋・重田組)

04 ウェイトリフティング部 (大学職員)

11年ぶり日本新記録達成！

平成23年6月26日に重量挙げの世界選手権代表選考会を兼ねて開催された全日本選手権最終日で本学事務職員兼ウェイトリフティング部コーチの太田和臣さん(105kg 超級)が11年ぶりにトータルの日本記録を更新する405kg(スナッチ185kg、ジャーク220kg)で見事、5連覇を達成しました。2012年のロンドンオリンピック出場に向けて、太田さんの快進撃が続きます。





Campus Report

中学生や高校生、大学生の学びを紹介します。

付属高校

異文化体験！

海を越えて体験した
貴重な2週間

(国際コミュニケーションクラス)



国際交流が活発な九州国際大学付属高校では、今年3月、国際コミュニケーションクラスの現・2年生が、2週間のオーストラリア研修に参加しました。生きた語学力を身につけ、グローバルな視野を育むのが目的です。大自然がいっぱいのオーストラリアでホストファミリーや現地の生徒たちに温かく受け入れられ、人との触れ合いを通して、さまざまな異文化の発見と一生の思い出を持ち帰ることができました。



①ホストマザーとの対面

②日本の文化「折り紙」の紹介

③オーストラリアの学生と交流

目標を達成した
卒業生からのメッセージ

長崎大学 経済学部合格

特進クラス卒 実久侑子

努力と結果がなかなか結びつかず辛い時もありましたが、周りの友人たちと励ましあいながら頑張りました。また、試験前には先生方が一人ひとりにメッセージを添えてくれるという気遣いも九国大付の魅力だと思います。



付属高校

夢を実現！

今年、高校を卒業した
九国大付OBの生の声

東京大学 文科II類合格

難関クラス卒 本多俊彦

繰り返しの勉強で、途中で投げ出したかったこともありましたが、自分以上に熱心で真剣な先生方の指導のおかげで最後まで諦めず志望校に挑戦することができました。少人数ならではのきめ細やかな授業と先生方の熱意で限界以上の力を引き出してもらえたと感謝しています。



信州大学 工学部合格

進学クラス卒 黒澤尊行

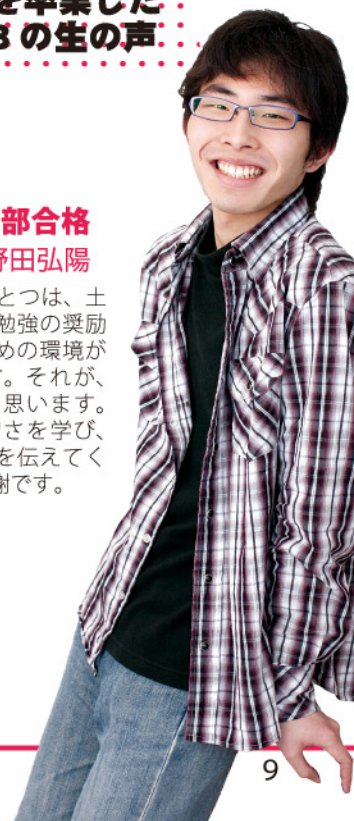
2年生の夏に「今から一生懸命に勉強したら自分の志望校に必ず受かる！嘘は言わないから信じる！」という先生の力強い言葉を信じ、受験勉強に励みました。夜遅くまで熱心に指導して下さった先生方に心から感謝しています。



京都大学 薬学部合格

難関クラス卒 野田弘陽

九国大付の魅力のひとつは、土曜日の授業や居残り勉強の奨励など、勉学に励むための環境が整っていることです。それが、やる気に繋がったと思います。継続することの大切さを学び、最後まで頑張ることを伝えてくださった先生方に感謝です。





中学生や高校生、大学生の学びを紹介します。

付属中学

K 点突破合宿！ — 限界を突破する合宿 —

中学3年生が、来る高校入試に備え、九州国際大学にて8月2・3・4日の3日間、勉強合宿を行いました。自分の「限界（K点）を突破する合宿」という意味でK T Gと銘打った勉強会は、朝 8:30 に集合し、夕方 18:00 まで自学と確認テストを繰り返すハードスケジュール。

今回の目標は次の3点。

- ①受け身の学習から脱却する。
- ②学習計画表を作成し、自分の学習を管理する。
- ③時間的・体力的な自分の限界を超える。

普段の教室から離れて、大学というすばらしい環境で気分を一新して限界に挑んだ生徒たち。大学、中学校の先生、そして保護者の皆さまなど、多くの方々の協力を得て実現したK T Gが、来年の春に実を結びます。

3年生の皆さんには、背中を押してくださる多くのサポーターが付いていること、そして一人で戦っているのではないことを忘れないでください。そして来春、志望校に合格した皆さんの明るい笑顔の報告をサポーター一同、お待ちしております。



① 図書館には鉛筆の走る音が響き渡る



② つかの間の昼食でホッと一息



③ 英彦山神宮「奉幣殿」前で記念撮影



④ 班別レクリエーションの準備風景



⑤ 集団訓練の練習風景。大きな掛け声が響く



⑥ 集団訓練のアイデアをみんなで話し合う

付属中学

自然体験教室！ 友情と団結力を深める 2泊3日のプログラム。

付属中学1年生が7月6日（水）から2泊3日で「英彦山青年の家」にて自然体験教室を行いました。

毎年1年生を対象に実施されているこのプログラムでは、集団訓練練習やスポーツ大会、英彦山登山、野外調理など、生徒たちの「団結力」を鍛える盛りだくさんの企画が用意されています。今年は激しい雨や風のため、メインプログラムの一部が中止となりましたが、生徒たちは活動を通して友情と団結力を深めました。

期間中、宿泊施設に滞在されていた小学校や聾学校の生徒さんとも共に過ごし、聾学校の生徒さんとはお互いに手話であいさつを交わすなど、楽しくほほえましい場面もありました。

この3日間のプログラムで友達や家族との絆を改めて実感でき、いつまでも心に残る思い出を作ることができました。今後、自然体験教室で学んだことをこれからの学校生活の糧として、1年生がさらに大きく成長することが期待されます。



中学生や高校生、大学生の学びを紹介します。



■ウィル・ハネット（九州国際大学経済学部1年生）

高校3年時に AFS 制度を利用して立命館高校（京都）に1年間留学。帰国後、母国アメリカで高校を卒業した後、再び日本に戻り、龍谷大学（京都）留学生別科で日本語を学ぶ。現在は、九州国際大学経済学部に入學し、学問と各種活動との両立を図りながら、将来は国際的な団体での従事を目指す。
※AFS は高校生の交換留学を主な活動とした国際教育交流団体であり、平和な世界を実現するために必要な素養と異文化交流の提供を目的としている。

大学

アメリカからの留学生 —学問と各種活動で キャンパスライフを満喫—

今から5年ほど前、当時、高校3年生のウィル・ハネットさんは日本の最先端技術にあこがれて、日本への留学を決意しました。映画バック・トゥ・ザ・フューチャーのように「日本は車が空を飛ぶ国」と憧れて、古都京都に降り立ちましたが、いつまでも離陸しない車、そして携帯電話を耳から離さない高校生たちを目にして、微かなカルチャーショックを受けたそうです（笑）。

そして、高校3年の1年間を京都立命館高校で過ごしたウィルさんは、卒業後にバックパッカー※1に挑戦。2ヶ月のヨーロッパ滞在期間で使った費用は、たったの20万円（しかも飛行機代込み）。驚きの低価格旅行を成し遂げたその秘訣は、農家での住み込み生活※2だそうで、朝早くから農場のお手伝いをするのが日課だったそうです。

そんなウィルさんが大学進学の際に重視したのが、経済成長著しい BRICs※3への留学。しかし、欧米からの留学生があまりにも多いという理由から、BRICsへの留学を諦め、日本への進学に変更したそうです。そして、将来的な世界経済の情勢を推測して「経済学と韓国分野に精通した大学」を条件に絞り込んだ結果、九州国際大学への進学を決めたといえます。

今年（平成23年）から、九州国際大学生としてキャンパスに通うウィルさんは、授業のほかにもさまざまな活動で汗を流しています。所属するサークル（山岳部：クライミング）のほかにも、協力学生※4として、オープンキャンパスを手伝い、日本人学生と積極的に交流することで学生生活を満喫しています。

活動範囲が広すぎるため、最近でも「学生食堂に行くと、いろんな友人が話しかけてくれるので、席に座るまでが大変です」とはにかむウィルさん。

最後に将来の目標を「英語、日本語、韓国語の言語能力と大学で学んだ経済学の知識を生かし、国際団体に従事して世界で活躍する仕事がしたいです」と熱く語ってくれました。

※1 低予算で国外を個人旅行する旅行者のことです。

※2 食事と寝床を準備してもらい代わりに週に4日の農場のお手伝いをしていただきます。

※3 経済発展が著しいブラジル (Brazil)、ロシア (Russia)、インド (India)、中国 (China) の頭文字を合わせた4カ国の総称です。

※4 協力学生はオープンキャンパスなど、大学行事をサポートする学生スタッフのことです。



① オープンキャンパスでの一コマ



② 協力学生の仲間たちとのBBQを楽しむウィルさん(右下)



■松井 舞子

(九州国際大学国際関係学部3年生)
大分県立国東高等学校出身

大学

国際協カスタディツアー

— 自立に繋がる支援とは？
帰国してなお模索中 —



8月下旬、国際関係学部の藤井大輔助教が引率する10日間の「国際協カスタディツアー※1」に参加した松井舞子さんと8名の学生たち。「東洋のパリ」と謳われる美しい街並みが残るカンボジアの首都プノンペンに降り立ち、ツアー初日は主にカンボジアの観光施設を見学しました。世界的に有名な遺跡や上品な仏教寺院など、文化的な施設とは対照的に都市から少し離れた場所にあるカンボジアの壮絶な歴史を物語るキリングフィールドやトゥールスレンと呼ばれる大量虐殺が行われた跡地にも足を踏み入れたことで、松井さんはカンボジアに暗い影を落とす悲しい歴史に目を向けることができたといいます。



↑ 映画「僕たちは世界を変えることができない」のモデルとなったグラフィス小学校



↑ 松井さんの手をにぎるロナ君

↑ 国際協カスタディツアーの参加者たち

国際協カスタディツアーでは、カンボジアからタイにも足を伸ばしました。松井さんたち9名の学生は、タイの「生き直しの学校」で短い間生活することとなりました。学校と呼ばれる施設には、両親から虐待を受けたり、薬物に依存する両親から保護された、心身共に傷ついた子どもたちが、豊かな自然の中で自立して新たな人生を生きていく力をつけるために共同生活をおくっています。

松井さんは、そこで出会ったロナ君(11歳)について次のように語ってくれました。「私たちが初めて施設を訪れたとき、子供たちはとても明るく笑顔で迎えてくれました。その中でも、特に私を慕ってくれたのがロナでした。滞在中、私がどこにいても私を探して、くっついて離れようとしません。手を握ればその手をずっと離さない、社会の底辺で生きてきた彼らは、心のそこから純粋に愛情を求め、人を信じようとしているのだということに気づきました」と声を詰まらせる松井さん。

今回のスタディツアーについて「豊かな国で生活する私たちが彼らに物を与えても、それは彼らの自立を妨げることになる。彼らの自立につながる支援とは何か？が分からず、足踏みしている自分が歯がゆい気持ちになりました」と締めくくった松井さんでしたが、ロナ君と一緒に作った思い出のキーホルダー※2を握りしめながら、「いつか必ず自立したロナの成長ぶりを自分の目で確かめに行きます」と熱い思いを明かしてくれました。

※1 九州国際大学の教育科目における海外社会実習の一環として、カンボジアとタイで各種施設の見学とボランティア体験を目的とした授業のこと

※2 (写真) タイトル右の画像



近代化遺産の魂

文：清水憲一（経済学部教授） 八幡東区「村野藤吾建築作品」

八幡駅から九州国際大学をめざす道の途中に八幡の復興と平和を長年、見守り続けてきた女神像がロータリー交差点の中央に佇む。そんな女神像を囲むように建てられた三方向の建築物。最も大きな建築物は、腕を広げて包み込むようなフォルムが印象的な「福岡ひびき信用金庫」（1971年竣工）。左右対称のファサードと茶色タイルが重厚感を醸している。ファサード（仏語 facade）は英語ではまさに「顔」であり、建築用語で正面デザインを意味する。歴史的都市景観をなす近代建築の1つとして、八幡駅下車する人々を迎える。



福岡ひびき信用金庫

そして、対角線上に位置するのが「八幡市民会館」（1958年）。背景の帆柱山系を意識した鋭いエッジのシルエットと風格ある茶褐色のタイル外装が特徴といわれる。1500席の大ホールには、舞台前にオーケストラピットがあり、「都市公民館発祥の地」という碑に表されるとおり「第1回建築業協会賞」を受賞した由緒ある建物でもある。



八幡市民会館



村野藤吾



北九州市立八幡図書館

この二つの中間に位置するのが「北九州市立八幡図書館」（1955年竣工）。見た目は機能性を形にした単純な箱形であるが、よく見るとコンクリート打放しの柱梁とその枠内にはめ込まれた煉瓦タイル（元の図面では鈹滓煉瓦）のコントラストが幾何学模様を浮き立たせ、外観からディテールのこだわりを感じ取ることができる。

これら三つの建物は、「日本の近代建築史上において、極めて独自性の高い建築家」と評される村野藤吾（1891-1984）の作品である。村野は、辰野金吾と同様、佐賀県唐津市の出身で、合理性と機能性を追求したモダニズムに基づきながらも手工芸的で繊細な装飾、とくにファサードのデザインや装飾に価値を見出し、戦後、文化勲章も受賞している。建築教科書の村野に対するこうした説明を読めば、改めて彼が創造した芸術性溢れる文化財が、日常の通学路を贅沢な気分へと変えてくれることだろう。

I. 資金収支計算書とは

当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及びいつでも引き出すことのできる預貯金)の収入及び支出のてん未を明らかにすることを目的としています。

資金収支計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,283,270	2,291,641	△ 8,371
手数料収入	73,875	73,537	338
補助金収入	795,799	858,947	△ 63,148
資産運用収入	60,050	60,553	△ 503
資産売却収入	1,000,000	1,000,000	0
事業収入	78,485	78,169	316
雑収入	114,804	114,083	721
前受金収入	369,120	431,631	△ 62,511
その他の収入	137,466	1,935,034	△ 1,797,568
資金収入調整勘定	△ 511,397	△ 526,988	15,591
前年度繰越支払資金	1,732,542	1,732,542	0
収入の部合計	6,134,014	8,049,149	△ 1,915,135
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	2,349,889	2,330,368	19,521
教育研究経費支出	817,457	793,449	24,008
管理経費支出	322,984	312,141	10,843
借入金等利息支出	14,165	14,163	2
借入金等返済支出	111,090	111,090	0
施設関係支出	21,558	20,808	750
設備関係支出	52,839	47,669	5,170
資産運用支出	200,000	2,004,437	△ 1,804,437
その他の支出	64,261	70,732	△ 6,471
[予備費]	20,000	20,000	0
資金支出調整勘定	△ 42,766	△ 53,811	11,045
次年度繰越支払資金	2,202,537	2,398,102	△ 195,565
支出の部合計	6,134,014	8,049,149	△ 1,915,135

要年度に入学者の学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

長期・短期の貸付金の回収額。特定の目的のために設立した預金(退職・減価償却)等を取り崩した額など。

収入として計上したものが、未払いになっているものや、前受金収入として前年度までに既に受入れている収入を差引くことにより、資金の収入額を調整するもの。

土地、建物、構築物等を取得するための支出。

教育研究用の機器備品、その他の機器備品、図書などを取得するための支出。

支出として計上したものの、未払いになっているものや、前払金支払として前年度までに支払っている経費を差引くことにより、資金の支出額を調整するもの。

資金収支決算の概要

項目	概要(前年度比較含む)
収入の部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生生徒等納付金収入: 大学において、「九州国際大学・経済支援対策制度」により入学金減免を実施したこと、また、学費の一部固定(値下げ)を実施したこと等により、前年比4,600万円の増収となりました。 ○ 補助金収入: 大学において、「就業力育成支援事業補助金」を獲得したこと、また、定員充足率の改善(向上)で経常費補助金の減額率が縮小したこと等により、前年比2,200万円の増収となりました。 ○ 資産運用収入: 特定資産運用収入等が減少したものの、遊休施設等の積極的貸出により、施設設備利用収入が前年比1,882万円の増収となりました。 ○ 事業収入: 大学において、委託事業の総額が900万円減少したことが主な要因となり、前年比600万円の減収となりました。 ○ 前受金収入: 高等学校の入学者が前年度を上回ったため、前受金収入が増加しました。
支出の部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人件費支出: 人件費本体(退職金を除く)は、前年比でほぼ横ばいに推移しています。退職金関係支出が前年比5,500万円増加したため、人件費総額が増加していますが、この増加分は、退職金支払収入として計上されます。 ○ 教育研究経費支出: 前年比2,289万円の増加となりました。大学では、「就業力育成支援事業補助金」の獲得に伴う経費措置を行ったこと、高校部門においては、体育館の改修、グラウンド法面補強等の修繕費が増加したことが主な要因として挙げられます。 ○ 管理経費支出: 経費削減を促進しており、前年比2,881万円減少しました。(主な削減項目:前年比:賃借料△497万円、修繕費△945万円、補助活動支出△1,065万円) ○ その他: ・日本私立学校振興・共済事業団からの借入金および利息については、順調に返済しています。 ・施設関係支出の増加は、高等学校のグラウンド法面補強を計上しています。 ・設備関係支出は、大学において「就業力育成支援事業」に対する機器備品の整備として1,619万円計上しています。

II. 消費収支計算書とは

帰属収入(収益)から基本金組入額を差し引いた消費収入と消費支出(費用)を比較して、その均衡状態、収入が超過しているか、支出が超過しているかを判断するものです。

消費収支計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	2,283,270	2,291,641	△ 8,371
手数料	73,875	73,537	338
寄付金	0	5,527	△ 5,527
補助金	795,799	858,947	△ 63,148
資産運用収入	60,050	60,553	△ 503
資産売却差額	0	1,233	△ 1,233
事業収入	78,485	78,169	316
雑収入	123,164	114,083	9,081
帰属収入合計	3,414,643	3,483,690	△ 69,047
基本金組入額合計	△ 185,487	△ 138,490	△ 46,997
消費収入の部合計	3,229,156	3,345,200	△ 116,044
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	2,313,910	2,313,906	4
教育研究経費	1,171,072	1,146,945	24,127
管理経費	406,784	395,580	11,204
借入金等利息	14,165	14,163	2
資産処分差額	135,383	87,408	47,975
徴収不能額	3,319	3,318	1
[予備費]	11,185	11,185	0
消費支出合計	4,055,818	3,961,320	94,498
当年度消費支出超過額	826,662	616,120	210,542
前年度繰越消費支出超過額	3,719,696	3,719,697	0
翌年度繰越消費支出超過額	4,546,358	4,335,817	210,541

帰属収入とは、学校法人の負債にならない収入。

消費収入とは、帰属収入から基本金を組み入れた後の額。

消費支出とは、学校法人が諸活動を行うために支出する費用で、消費収入により賚られる。

消費収入から消費支出を差し引いた金額が消費収支差額(収入超過または支出超過)で表示。

消費収支決算の概要

項目	概要(前年度比較含む)
収入の部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生生徒等納付金収入: 大学において、「九州国際大学・経済支援対策制度」により入学金減免を実施したこと、また、学費の一部固定(値下げ)を実施したこと等により、前年比4,600万円の増収となりました。 ○ 補助金収入: 大学において、「就業力育成支援事業補助金」を獲得したこと、また、定員充足率の改善(向上)で経常費補助金の減額率が縮小したこと等により、前年比2,200万円の増収となりました。 ○ 事業収入: 大学において、委託事業の総額が900万円減少したことが主な要因となり、前年比600万円の減収となりました。 ○ 雑収入: 前年比4,400万円の増収となりました。当該年度の退職金関係の交付金が前年比4,600万円増加したことが主な要因です。
支出の部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人件費支出: 人件費本体(退職金を除く)は、前年比でほぼ横ばいに推移しています。退職金関係支出が前年比5,500万円増加したため、人件費総額が増加していますが、この増加分は、退職金支払収入として計上されます。 ○ 教育研究経費支出: 前年比2,289万円の増加となりました。大学では、「就業力育成支援事業補助金」の獲得に伴う経費措置を行ったこと、高校部門においては、体育館の改修、グラウンド法面補強等の修繕費が増加したことが主な要因として挙げられます。 ○ 管理経費支出: 経費削減を促進しており、前年比2,881万円減少しました。(主な削減項目:前年比:賃借料△497万円、修繕費△945万円、補助活動支出△1,065万円) ○ その他: ・日本私立学校振興・共済事業団からの借入金および利息については、順調に返済しています。 ・資産運用に際して、減価償却特定資産として保有している債券において、その下書きが50%縮小したため、学校法人会計第27条に基づき減額処理を行いました。

III. 貸借対照表とは

学校法人の一定時点における財政状態を表すものであり、以下の算式で表すことができます。
※算式(資産=負債+自己資金)

貸借対照表 (平成23年3月31日現在) (単位:千円)

資産の部			
科目	平成22年度	平成21年度	増減
固定資産	17,488,667	18,781,862	△ 1,293,195
有形固定資産	14,925,393	15,292,947	△ 367,554
土地	4,166,653	4,166,653	0
建物	8,172,299	8,528,188	△ 355,889
構築物	483,098	509,289	△ 26,191
教育研究用機器備品	302,064	299,128	2,936
その他の機器備品	49,191	54,616	△ 5,425
図書	1,747,611	1,730,868	16,743
車輛	4,477	4,205	272
その他の固定資産	2,563,274	3,488,915	△ 925,641
ソフトウェア	1,050	1,281	△ 231
電話加入権	3,203	3,203	0
敷金	14,450	50	14,400
有価証券	200,000	1,000,000	△ 800,000
長期貸付金	2,078	2,774	△ 696
退職給付引当特定資産	1,073,831	1,131,738	△ 57,907
減価償却引当特定資産	1,233,847	1,315,054	△ 81,207
預託金	34,815	34,815	0
流動資産	2,569,959	1,867,248	702,711
現金預金	2,398,102	1,732,542	665,560
未収金	111,300	66,785	44,515
貯蔵品	679	707	△ 28
短期貸付金	1,046	926	120
修学・研修旅行費預り資産	54,945	50,548	4,397
前払金	2,743	2,776	△ 33
立替金	0	2,695	△ 2,695
仮払金	1,144	10,269	△ 9,125
資産の部合計	20,058,626	20,649,110	△ 590,484
負債の部			
科目	平成22年度	平成21年度	増減
固定負債	1,594,269	1,714,963	△ 120,694
長期借入金	472,090	583,180	△ 111,090
退職給付引当金	1,115,321	1,131,783	△ 16,462
長期未払金	6,858	0	6,858
流動負債	706,056	698,215	7,841
短期借入金	111,090	111,090	0
短期未払金	44,183	47,326	△ 3,143
前受金	431,631	418,111	13,520
修学・研修旅行費預り金	55,143	50,844	4,299
預り金	64,009	70,844	△ 6,835
負債の部合計	2,300,325	2,413,178	△ 112,853
基本金の部	1,697,118	2,158,628	138,490
第1号基本金(施設・設備取得)	397,000	397,000	0
第4号基本金(運転資金)	397,000	397,000	0
基本金の部合計	22,094,118	21,955,628	138,490
消費収支差額の部	4,335,817	3,719,696	616,121
消費収支差額の部合計	△ 4,335,817	△ 3,719,696	△ 616,121
負債の部基本金の部及び消費収支差額の部合計	20,058,626	20,649,110	△ 590,484

図書・教育研究用の機器備品及び建物・構築物(空調等)の増減。

教育研究のために使用される機器設備の増減。

決算日(3月31日)における補助金などの未収額。

返済期が1年以上の借入金。

平成22年度末に教職員全員が退職した場合には退職金引当金の繰上り。

返済期が1年以内の借入金。

要年度に入学者の学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

財政的な基礎を確保する観点から、本学が安定的かつ永続的に経営していくために必要な額。

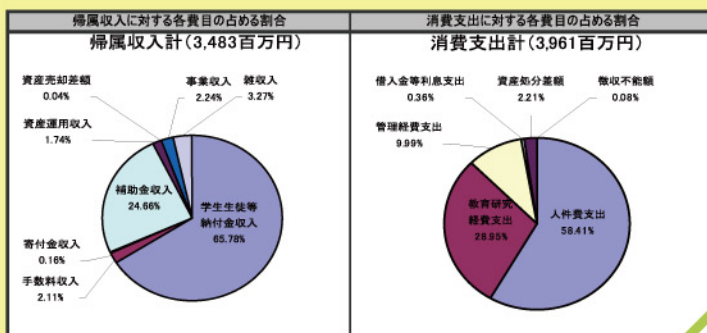
貸借対照表の概要

項目	概要(前年度比較含む)
資産の部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建物・構築物・機器備品等: 減価償却等により、建物:308,588万円、構築物:2,619万円、その他機器備品:542万円の減少となりました。教育研究用機器備品については、減価償却等取得価格が前年比293万円の増加となりました。 ○ 現金・預金: 前年度末に保有していた繰上り預金(有価証券)が22年度中に満期となったため、有価証券が99万円の減少となりました。これら繰上り預金が前年度に前倒されたことなど現金預金が6,566万円の増加となっています。 ○ 特定資産: 退職給付引当特定資産の減少は、運用資産の入替、および当年度取り崩しです。減価償却引当特定資産の減少は、運用資産の減価処理によるものです。 ○ その他: 旧留學生生(カウパイト)を廃止し、新たに学生費奨励給付金として敷金が1,440万円増加しました。
負債の部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長期・短期借入金: 日本私立学校振興・共済事業団への約定返済により111,090万円減少しました。 ○ 前受金: 高等学校の入学者数が前年度を上回ったため、1,352万円の増加となりました。 ○ 基本金: 借入金により取得した土地・建物について、借入金返済額を第1号基本金へ組入れました。また、当期資産売却益との増減により第4号基本金が1,384万円増加しました。

決算概要

平成22年度消費収支決算は6億1,612万円の消費支出超過となっています。主な要因として、帰属収入は34億8,369万円となり、前年比29%増加となりました。学生数の減少に一定の歯止めはかかったものの、募集施策である入学金減免制度が影響を、またる収入である学生生徒納付金が減少しました。一方、補助金収入については、大学の収容定員充足率上昇により経常費補助金の減額率が縮小したこと、また、大学改革推進等補助金(2件)の採択などが寄与し国庫補助金が前年比69%増加しています。消費支出に際して、応急的な修繕工事に伴い前年度を2,340万円程度超過する教育用修繕費支出が発生しており、教育研究経費が前年比で増加した要因となっています。管理経費全般を通して「消耗品費」「補助活動支出」「補助金返還支出」が前年を大きく上回ったものの、その他の管理コストを合理的に削減できたため全体で前年比79%増減抑制しました。人件費支出のうち、教職員人件費(役員報酬含む)は、ほぼ横ばいに推移していますが、一時的な退職金関係支出が前年度を上回り、総人件費が高い水準を示しています。今後は人事計画に基づき適正な人員配置を図ることで人件費を抑制していきます。

※ホームページ事業報告書において、詳細な財務情報を開示しております。【URL】: <http://www.kiua.ac.jp/about/ksuabout/report.html>



Check 1

大学祭情報

九州国際大学第57回大学祭開催。
平成23年11月19日(土)・20日(日)

—今年のテーマは「八幡から日本に元気を届ける」—

主なイベント

11月19日(土)

環境戦士アースマン
ダンスステージ
ベストカップルコンテスト
女装ミスコン
LIVE
豪華抽選会

11月20日(日)

地域合同カラオケ大会
ダンスステージ
ダイヤモンドガール
キックボクシング
2011九国大ミスコン
Milky Bunny
LIVE&TALK SHOW



※詳細は大学HPからもご覧いただけます。

Check 2

KITA MAP 発足

北九州市内から約100人の
学生防犯ボランティア団体が誕生!

北九州市内の大学、専門学校からなる防犯ボランティア団体「KITA MAP」の発足式が9月13日(火)に九州国際大学で行われました。参加校は、九州国際大学のほか、北九州市立大学、九州共立大学、九州工業大学、麻生公務員専門学校北九州校など。今後、各大学の学生は安心・安全なまちづくりをめざし、相互の連携を図ります。



学園広報誌「キューントピ」
vol.9/2011 秋号
発行日/2011年9月30日

発行 学校法人九州国際大学
九州国際大学出版部
〒805-8513
北九州市八幡東区平野二丁目5-1
TEL:093-671-8900 FAX:093-671-9032



九州国際大学は1930年の「九州法学校」を源流として、2010年で80年を迎えました。80周年を迎えるにあたり、学生のアンケートをもとに左のデザインが決定されました。



1956年、旭光に誕生した九州国際大学付属高校(男子部)は、2008年で創立50年を迎えました。このシンボルマークは創立50周年を記念して作成されました。